





証券会社と子どもの貧困問題解決に取り組むNPO法人等を結ぶプラットフォーム 「こどもサポート証券ネット」		取組開始時期	2019年12月	取組の カテゴリ	児童福祉
1. 団体名	日本証券業協会	2. 連携先の団体	証券会社、NPO法人・社会福祉法人、内閣府（子どもの貧困対策担当）など		
3. 取組目的	証券会社が提供できるリソースを子供の支援に向けた活動に有効活用していただくことにより、我が国における子供の貧困問題の解決に資すること		4. 関連するゴール	   	

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

証券業界では、SDGsの達成に向けた取組みを重要課題と位置付けており、中でも社会的課題の1つである「子供の貧困問題」の解決に向け、「こどもサポート証券ネット」を構築いたしました。

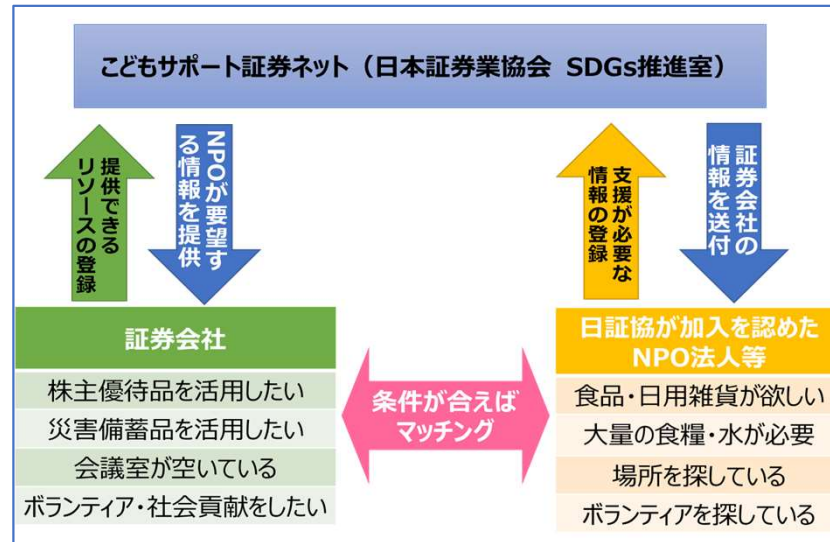
「こどもサポート証券ネット」では、例えば証券会社が提供できるリソース（現在は株主優待品や災害備蓄品などの「物品」を対象とし、将来的には会議室の「場所」やボランティア等の「人」も含めていく予定）を登録し、それを見たNPO法人等が証券会社に連絡を取ってマッチングすることにより、NPO法人等の子供の支援に向けた活動に有効活用していただけるような仕組みとなっています。

これまでの実績として、9か月間で200件以上のマッチングが成立しており、また登録情報数に対しての成約率は約90%と高く、ほとんどの物品が登録後すぐにマッチングに至っています。

今年3月には、コロナ禍による小学校等の臨時休校の動きに対応し、参加している証券会社に支援を呼び掛けたところ、複数のマッチングに繋がりと、NPO法人等からも感謝の声をいただきました。

今後としましても、証券業界では、子供の支援を「未来への投資」と考え、少しでも我が国の子供たちが置かれる状況が改善されるよう、「こどもサポート証券ネット」への参加団体の増加、そして更なるマッチングの活性化に努めて参ります。

「こどもサポート証券ネット」の仕組み



支援実績（2020年1月～2020年10月時点）

- ◆現在までのマッチング件数 **228件**
- ◆マッチングしている物品合計（一例）
- 米（精米済み） 370 kg**
- 飲料（水、ジュース等） 約 203 ℓ**
- インスタント・レトルト食品 1000食以上**
- …その他、缶詰、乾麺、日用品（タオル・筆記用具）等

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

「こどもサポート証券ネット」の参加対象は全国のNPO法人等と証券会社であり、本取組みはそれぞれの地域で活動するNPO法人等の支援につながるとともに、証券会社側としても応援したい地域のNPO法人等を選択して支援することができるという点で、地方創生SDGsに資するものと考えています。

ステークホルダーとの連携

参加団体として証券会社、NPO法人・社会福祉法人が含まれるほか、地域社会とNPOのニーズや変化を踏まえて効率的かつ実効的に運営されるよう、運営委員会が設置されており、委員として大学教授などの有識者、またオブザーバーとして内閣府にもご協力をいただいています。

モデル性・波及性

「こどもサポート証券ネット」は、支援提供側が提供できるリソースを、無理のない範囲・タイミングで支援していただくとともに、機能としては参加団体同士で簡便な情報共有を可能とすることを主な役割としたシンプルな仕組みであることから、高いモデル性・波及性を有していると考えています。

自由記述欄

<参加NPO法人数 32団体> ※

北海道 1 東北 4 関東 14
 名古屋・北陸 2 関西 4 中国 2
 四国 1 九州 4



「こどもサポート証券ネット」にご参加いただいているNPO法人等（32団体）は、主に次のような事業（支援）を行っています。

- ✓ 満足に食事をとれない子供たちに対して子ども食堂の運営をしている団体
- ✓ 学習塾へ通えない子供たちに対して学習サポートをしている団体
- ✓ ひとり親家庭を支援している団体
- ✓ 地域の子どもを地域で見守り育てるため、子供の居場所づくりを行っている団体

<参加証券会社：37社> ※

藍澤証券、岩井コスモ証券、エース証券、
 S M B C日興証券、F F G証券、F P L証券、
 岡三証券、岡三にいがた証券、岡安商事、
 共和証券、極東証券、光世証券、
 ゴールドマン・サックス証券、七十七証券、
 証券ジャパン、だいがく証券ビジネス、
 第四北越証券、大山日ノ丸証券、大和証券、
 立花証券、ちばぎん証券、東洋証券、内藤証券、
 中原証券、ナティクス日本証券、
 西日本シティT T証券、西村証券、ばんせい証券、
 益茂証券、丸三証券、みずほ証券、
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、水戸証券、
 むさし証券、明和証券、山和証券、
 リテラ・クリア証券

※参加団体数は、2020年10月末時点の数値となります

○支援先のNPO法人からの声① （レインボーリボンFacebookページより）

NPO法人レインボーリボン
 3月8日 8:26

3月7日の「よみかき宿題こどもカフェ@なぎ」は子ども6人、保護者2人、ボランティア10人の18人参加で、いつもは「あおとこども食堂」を開催している会場のUR青戸第一団地の第一集会所で行いました。スリッパも椅子も机も消毒、消毒・・・換気もして、席を離して、静かにお勉強しました！
 でも、最後はけっこう密集して折り紙に興じていましたが(^_^)今回はお弁当を持ち帰ってもらいました。
 ちらし寿司にひな祭り用のカマボコと枝豆の煮つけ、鶏つくね団子、それにご寄付いただいた鮭やカニ缶のトッピング(≧。≦)
 ひな祭り用のカマボコは流山市の給食に提供されるはずだった食材を「こども食堂実践者の会」の連携で、松戸市の「こがねはら子ども食堂」からいただきました。
 終了後、お弁当と一緒に寄贈品を10家庭に届けました。

日本証券業協会「こどもサポート証券ネット」を通して大坂市中央区の光世証券株式会社様からご寄贈いただいた魚沼産こしひかり米、高級缶詰等、それにカマボコと一緒にいただいたお餅などを届けました。

嬉しかったのは、あるお母さんがお弁当を届けたボランティアさんにお礼の電話をくださったこと(≧^≦)
 世の中コロナウィルス一色で、心を閉ざしてしまいがちな緊張感とストレスの中、こども食堂のお弁当が少しでもお役に立てたかな・・・(^^)



○支援先のNPO法人からの声②

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため学校が休校となり、子どもたちの居場所がなくなってしまったり、学校給食がないために食事・栄養摂取が心配な状況となりました。弊団体では複数の子ども食堂を運営していますが、3月中は少人数登録制の困窮家庭に限定した子ども食堂は開催し、不特定多数が大勢集まる地域の憩いの場となっている子ども食堂は中止しました。

困窮家庭への食糧支援と、中止の告知が届かずに来場してしまった親子へのお土産用に急きよ、支援物資を申し込みました。

大変親切にご対応いただき、届いた食料の状態も大変良好で感激いたしました。感謝に堪えません。



「こどもサポート証券ネット」ウェブサイトURL : <https://www.jsda.or.jp/sdgs/kodomonet.html>